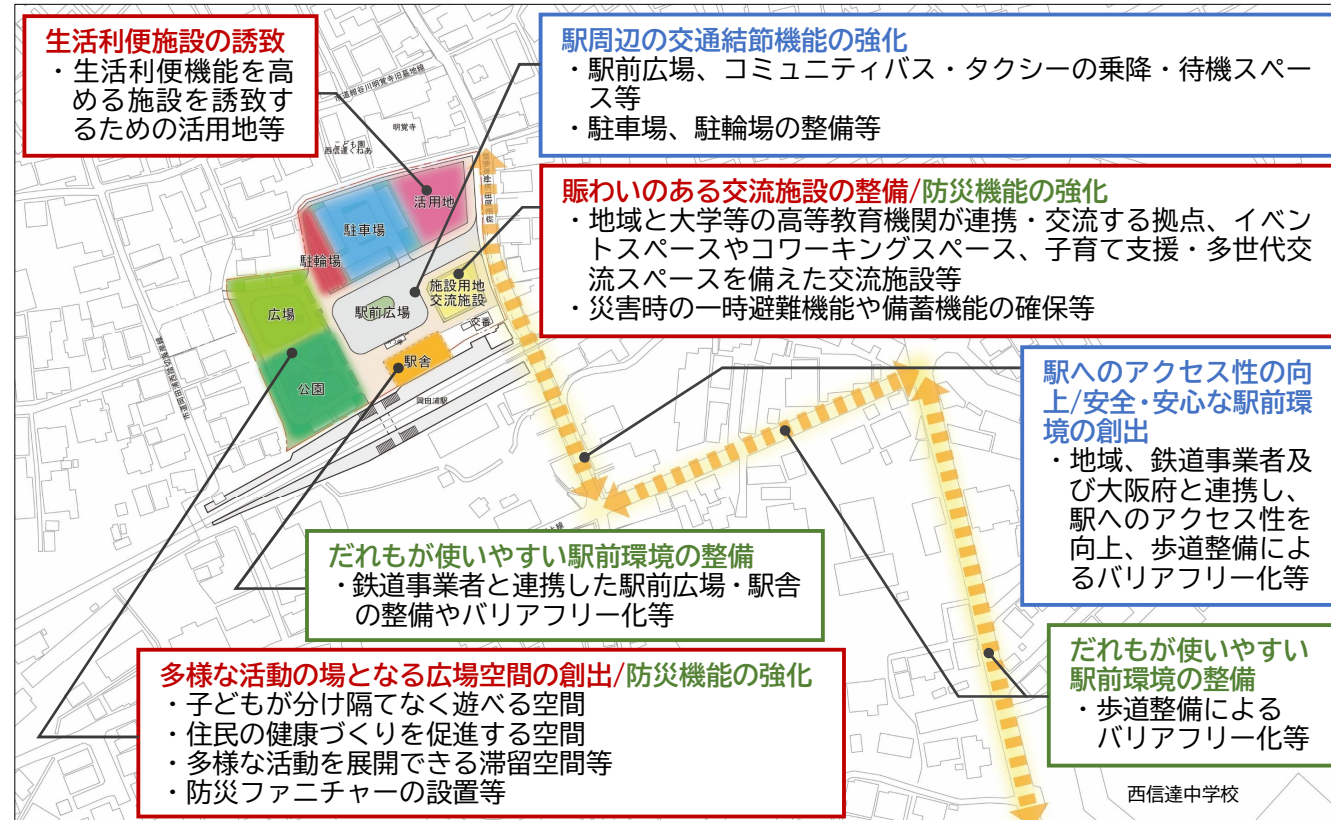


5. 基本計画図



・施設配置計画図を踏まえて算出した概算事業費の合計は、約 11.5 億円です。

※土地利用のゾーニング及び周辺道路の整備内容は一例であり、施設配置計画図及び概算事業費は今後の検討状況や関係者との協議・調整、社会情勢の変化等により変更となる可能性があります。

6. 今後の課題と検討事項

(1) 一体的な周辺環境の整備

- ・住環境の安全性、快適性の向上及び地域活性化を図るためには、西信達小学校跡地だけでなく、駅舎や周辺道路といった周辺環境の利便性、快適性及び安全性の向上を含め、一体的に検討します。
- ・道路環境の整備に当たっては、駅周辺のバリアフリー化やホームの改修との連携を図り、地域のニーズや状況を踏まえ、事業の推進に必要な道路や踏切の改修を進めていく必要があります。また、道路環境の整備には、用地取得も視野に入れ、地域や大阪府と連携により進めていく必要があります。

(2) 市民、関係事業者との協働

- ・岡田浦駅周辺地区の整備の実現には、市民・事業者・行政の協働による取組が必要不可欠です。そのため、市民がまちづくりに参画しやすい環境づくりの活動支援を行い、民間活力導入については関係事業者との連携を図ることで、市民・関係事業者との協働によるまちづくりを推進します。
- ・本事業は長期間にわたることが想定され、地域・鉄道事業者・大阪府など多様な関係者との合意形成が重要となり、事業の進捗状況に応じて事業計画を見直していくことが求められます。また、民間活力の導入には、施設の管理運営方針・内容の検討や民間事業者の参画意欲の向上に向けて、民間事業者と連携しながら周辺環境整備等の課題解決に向けて検討を進める必要があります。

岡田浦駅周辺地区公共施設等再編基本計画概要版 令和 8 年（2026 年）9 月

担当課：泉南市 総務部 公共施設再編課

住 所：泉南市役所本館 2 階 〒590-0592 大阪府泉南市樽井一丁目 1 番 1 号

電 話：072-479-6822 FAX：072-483-0325 e-mail：saihen@city.sennan.lg.jp

岡田浦駅周辺地区公共施設等再編基本計画 ＜概要版＞

1. 基本計画策定の背景と目的

泉南市では、市有地を含む遊休不動産を活用しつつ、多世代間の住民が交流し、にぎわいが創出される生活拠点の形成を目的として、「岡田浦駅周辺地区公共施設等再編基本構想」（以下「基本構想」という。）を令和 7 年 3 月に策定しました。

基本構想では、地域の特性を踏まえて生活利便性・安全性及び防災性を向上させ、地域の活性化を図るため、市民・関係事業者と連携して道路環境の整備を進めていくこととしています。基本構想に基づき、施設配置や施設整備内容を検討し、生活拠点としてふさわしい、魅力ある駅前空間の具体化に向けて方針を示した「岡田浦駅周辺地区公共施設等再編基本計画」を策定します。



2. 地域課題の整理

駅周辺における現状の特徴を踏まえ、岡田浦駅周辺地区のまちづくりを検討する上での課題を整理します。

●商業の活性化、生活サービス機能の向上

- ・岡田浦駅周辺は、上位計画において地域拠点として位置づけられていますが、地域での暮らしを快適にする生活利便施設が不足しています。アンケートでは、まちの利便性を高める空間を望む声が多くあり、商業の活性化や日常生活を支える生活サービス機能の向上が求められています。

●交通結節機能の強化

- ・駅周辺のアクセス道路である府道 253 号岡田浦停車場線は道路幅員が狭く、コミュニティバスの乗り入れができず、駅前広場、駐車場、送迎車両の停車スペースも特に設けられていません。また、駐輪場は踏切を挟んで離れた場所に整備されており、交通の利便性が悪く、交通結節機能が不足しています。

●魅力・賑わいのある駅前空間の創出

- ・駅前には西信達小学校が立地し、周辺には住宅が密集している一方、駅前として魅力的な滞留空間や施設が不足しており、駅利用者も少ない状況にあります。また、学校区内に一定規模以上の街区公園が整備されておらず、子どもが安心して遊べる場が不足しています。地区内では高齢化が進行中、高齢者が無理なく歩ける範囲で休憩できるスポットや地域住民が触れ合えるコミュニティの場が不足しています。
- ・地域の活性化には、地域内外から多様な人々を呼び込む魅力ある駅前空間の整備が必要です。

●安全・安心に利用できる駅前環境の整備

- ・駅へのアクセス道路は、歩道が未整備の狭い一方通行の道路で、駅前広場が整備されていないため、歩行者・自転車・駅への送迎車両が輻輳しており、駅へのアクセス道路の安全性に課題があります。

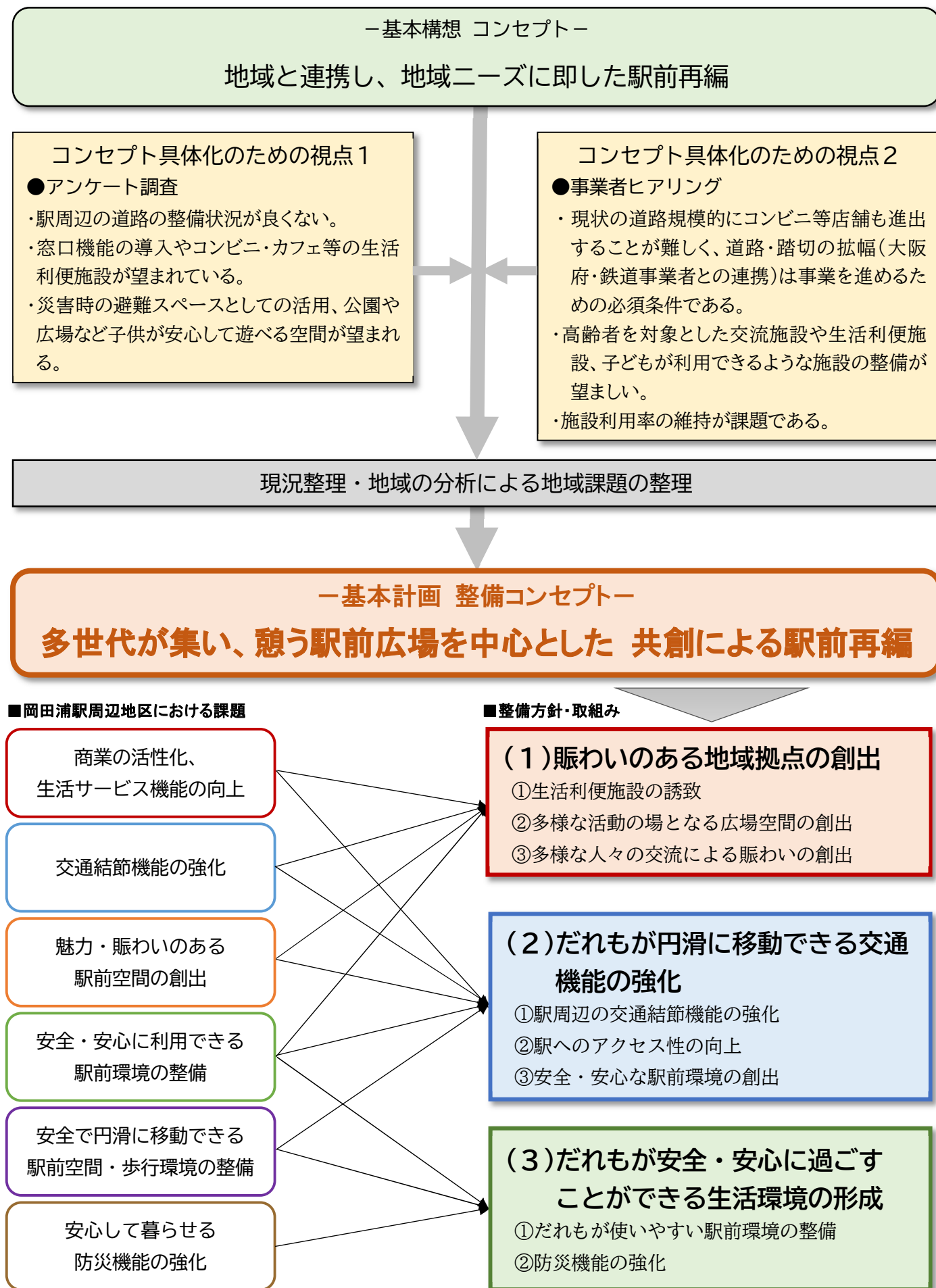
●安全で円滑に移動できる駅前空間・歩行環境の整備

- ・「泉南市岡田浦駅周辺地区バリアフリー基本構想」において、「重点整備地区」である岡田浦駅周辺地区は、バリアフリー化に向けた重点的かつ一体的な整備が、重要課題となっています。下りホームへは、改札内の階段でしかアクセスできず、車いすでの利用が困難です。上りホームは改札が狭く、勾配がきついスロープには手すりが設けられていません。通学路である駅周辺の道路は、歩道がない狭い道路ですが、車の通行が一定あるため、危険な状況にあります。そのため、高齢者や障害者等が安全・快適に利用できるよう、駅本体の物理的障壁の解消と周辺経路の整備を一体的に進めることが不可欠です。

●安心して暮らせる防災機能の強化

- ・現在、西信達小学校は、指定緊急避難場所・指定避難所(洪水・土砂災害時には開設しない施設)に指定されており、小学校の廃止に伴う、地域防災力の低下が懸念されます。また、岡田浦駅周辺地区は住宅密集地ですが、火災時における一時的な避難スペースが不足しているため、地域防災力の向上が必要です。災害に備えた施設の整備や避難スペースの確保など、防災機能の維持・向上が求められます。

3. 基本方針・コンセプト



4. 岡田浦駅周辺地区の整備方針



※イメージパース及び整備内容は、今後の検討状況、関係者との協議・調整、建築資材価格や社会情勢の変化等により、変更となる可能性があります。

(1)賑わいのある地域拠点の創出

①生活利便施設の誘致	・地域における生活サービス機能の向上、生活利便施設の誘致
②多様な活動の場となる広場空間の創出	・子どもたちが分け隔てなく遊ぶことができ、住民の健康づくりを促進できる広場空間を創出 ・地域住民や駅利用者が気軽に立ち寄り、多様な活動の場となる滞留空間を創出
③多様な人々の交流による賑わいの創出	・通勤・通学などで駅を利用した際に気軽に立ち寄れる地域の店舗、地域と大学等の高等教育機関が連携・交流する拠点、イベントスペースやコワーキングスペース、子育て支援・多世代交流スペースなど、教育、仕事、子育て等を通じて交流できる居心地の良い空間を形成 ・地域内外の人々をつなぎ、多様な人々の交流によるにぎわいを創出

(2)だれもが円滑に移動できる交通の強化

①駅周辺の交通結節機能の強化	・駅前広場を整備するとともに、コミュニティバスやタクシーの乗降・待機ができる空間の確保 ・公共交通空間の利便性の向上 ・駐車場・駐輪場の整備により、交通結節点としての機能を強化
②駅へのアクセス性の向上	・地域・鉄道事業者・大阪府と連携したアクセス性の向上
③安全・安心な駅前環境の創出	・駅前広場・駐車場の整備 ・安心して通行できる歩行者空間の整備 ・安全・安心な駅前環境を創出

(3)だれもが安全・安心に過ごすことができる生活環境の形成

①だれもが使いやすい駅前環境の整備	・鉄道事業者と連携し、駅のバリアフリー化と連動した駅前広場を整備 ・地域・鉄道事業者及び大阪府と連携し、だれもが使いやすい駅前環境を整備
②防災機能の強化	・災害時に一時的に避難できる場として、防災ファニチャー（平常時はベンチ等として使用し、災害時に活用できる設備）を設置した広場や備蓄機能を備えた施設の整備